（別紙4（2））

事業所名：グループホームハーモニー

作成日：　令和6年　2月　19日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	コロナによる規制が長く続き、以前のように利用者の出来ること、やりたいことへの取り組みが全体の共通認識になっていないものがある。	職員が一人ひとりに合わせた同じ目線、同じ援助方法になるよう努める。	思いや、暮らし方の意向を把握していくため利用者にアンケートを取っていく。 会議で話し合ったことの実践と評価を確実に行う。	12ヶ月
2	35	今回大きな災害がおこったことにより備蓄量、改めて備蓄が必要な追加品など再検討をしていく必要がある。	入居者、職員分の備蓄品を増量する。新たに必要な備蓄品も入れていく。	備蓄品の内容や、数について会議で話し合い、計画を立て蓄える。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。